

PRESENTATION TEAM 3



Inochi Gakusei Mirai Forum 2019 x mini WAKAZO Pavilion

プラン名	心電図送信システム ^{スーでっか} AEDECa
チーム名	いにしへの雲
高校	四天王寺高等学校
メンバー	稲葉陽加里 平尾百花 辻本愛澄 藤間悠衣

自己調査実績	* 11/11に実装実験を実施
<ヒアリング先>	<協力頂いた機関>
・医師:12人(病院:9件)	・AED設置機関:5か所
・消防署:27か所	・その他:大阪市役所
・AEDメーカー:2社	大阪J
・その他:駅1か所	

課題 心室細動が持続中の患者にはPCPS(経皮的心肺補助装置)を用いた処置が早急に必要な。この組立てには時間がかかるため搬送先の病院は早く患者情報を得たい。(国立循環器病研究センター 田原先生より)
しかし! 救急車到着前に病院が得られる患者の情報が少なく、**処置準備に取りかかるのが遅い。**

解決策
現場のAEDに記録された心電図を搬送先の病院に送信するシステム「AEDECa」を構築し、より早く病院が処置準備に取りかかることができるようにする。

プランの概要 AEDに記録された心電図を患者到着前に病院の医師に届け、処置の準備を早く始める。

~心電図送信システム "AEDECa"~

- ① AEDに記録された心電図を、救急隊のスマートフォンに抜き出す。
- ② 心電図を搬送先の病院にメールで送信。
- ③ 病院のPCで、心電図を開く。
- ④ 医師が処置準備に入る

この時間差分*だけ
処置準備を早く開始できる
 ☆現在は救急車到着後に
 処置準備を開始
 現場到着~医師診断まで平均25分
 (天王寺消防署 H30~R1年のデータより)
- ⑤ 救急車が到着する

* 11/11の実装実験で測定

救急車到着前に、AEDに記録された心電図を医師が確認することで、治療方針の決定に役立つ。組立てに時間がかかるPCPSの準備、原因検索・診断・治療にも結びつくカテテル検査の準備などを早期に開始できる。→救命率の向上